



碧南ロータリークラブ週報

第2574回例会 平成23年12月14日(水)

- 会長 石川 春久 ●幹事 平岩 辰之 ●会場監督 新美 惣英 (SAA)
- 例会日 毎週水曜日 12:30 ■ 例会場 碧南商工会議所ホール
- 事務局 碧南商工会議所内 〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町90
TEL <0566> 41-1100 FAX <0566> 48-1100
ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp/>
E-mail: info@hekinan-rc.jp
- 会報委員 鈴木健三・菅原 優・永坂誠司・鈴木宏枝

2011-2012年度 国際ロータリーのテーマ



ここの中を見つめよう 博愛を広げるために

● 齊唱

ロータリーソング「我らの生業」

● 本日のメニュー

和風弁当 大正館

会長挨拶



石川春久会長

本年1年はNHKの大河ドラマを楽しませていただきました。その中で秀忠に興味を持ち本を読みました。中でも碧南RCの先輩方の中にもお世話になった方もいるのではないかという吉原に興味を持ちました。

吉原は幕府公認の遊郭であり男の歓楽街だった。場所は千束村—現在の台東区千束4丁目の一帯で浅草浅草寺の裏手にある。

元々吉原は2代将軍秀忠の時代、現在の中央区日本橋人形町の辺りに開業した。ところが江戸の中心部に遊郭があるのは不適当として幕府は移転を命じ、明暦3年(1657)、千束の地に移って営業を再開した。4代将軍家綱の時代である。移転後は正式には新吉原だが、吉原と言えば普通この吉原を指す。

現在かっての吉原の地はソープランド街となっている。その意味では今も昔も男の歓楽街に変わらない。しかし、江戸時代、吉原を訪れたのはいわゆる女郎買いの男だけではなく、多くの観光客や見物客もつめかけた。藩主の参勤交代に従って。初めて出てきた勤番武士はまず吉原見物をしたがったし、江戸見物に来た老若男女にとって浅草の観音様(浅草寺)に参詣した後吉原見物をするのは定番の観光コースになっていた。

吉原は江戸時代最大の観光地であり、現代のアミューズメントパークに似た側面もあった。豪華絢爛たる衣装を着た上級遊女が多数のお伴を従えて練り歩く花魁道中はまさにパレードと言えよう。その他、年間を通じて各種のショー、イベントも開催された。

吉原は田園地帯の中にあり、敷地は約2万坪。周囲を「お歯黒どぶ」と言う堀と高い堀で囲まれた閉鎖空間だった。吉原へは江戸のどこから来るにしても最後は日本堤という一本道を駕籠か徒歩で行かねばならない。日本堤から五十間道を下ると唯一の出入り口である大門があった。大門をくぐると別世界である。中央を貫いているのは仲の町と呼ばれている大通りで、ここは華麗なイベント広場でもあった。仲の町の両側には引手茶屋が軒を連ねている。俗に五丁目と称される区画には大小の妓楼(遊女屋)が立ち並び、およそ3000人(多いときは7000人を超えた)の遊女がいた。

その他茶屋や料理屋、湯屋、各種商店もあり路地に入った裏長屋には芸人や職人なども住んでいた。残念ながら廃止になったのは私が中学2年の時でした。

幹事報告

- ・例会変更等はありません
- ・幹事報告は報告書をご覧ください



平岩辰之幹事

委員会報告

〈出席奨励委員会〉

総会員数71名(内出席免除者14名の内出席者10名)出席者62名	
出席対象者 62／66名	出席率 93.94%
欠席者 9名(病欠者1名)	前々回修正出席率 100%

〈ニコボックス委員会〉

- 新美 孝君 12月15日ご諸兄のご支援により、RC在籍40年を迎えることになります。感謝。
服部弘史さんにお世話になりました。有難う御座りました。
- 杉浦 求君 先月、当所で株主総会を開催いたしました。昨年より売上17%、利益23%UP
しました。今期もがんばりたい！
- 中山 寛紀君 ちょっと良いことがありました。
- 栗山 章君 本日、卓話を務めさせて頂きます。つたない話ですが、よろしくお願いします。

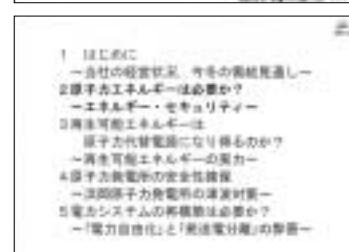
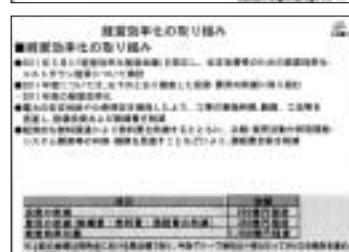
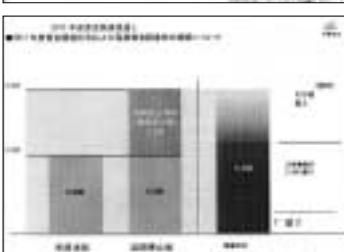
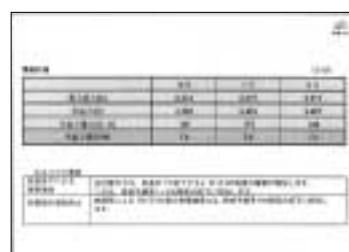
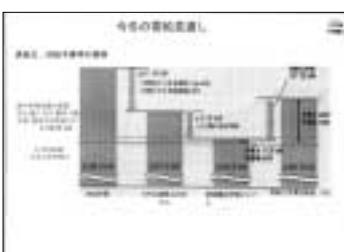
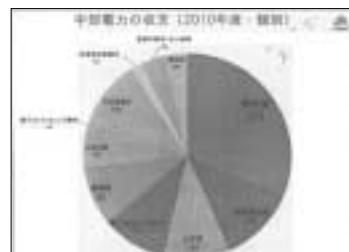
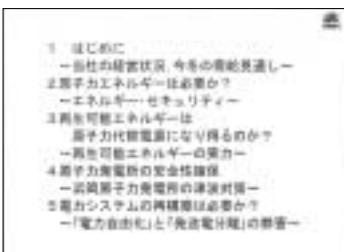
卓話

「電気事業を取り巻くあんな事こんな事」

碧南RC会員 栗山 章君



栗山 章君





次回例会案内

平成23年12月25日（日）午後5時～
クリスマス家族会 会場：衣浦グランドホテル

平成23年12月28日（水）は振り替え休会

平成24年1月4日（水）は定款第6条第1節Cによる休会

平成24年1月11日（水）新年例会